

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月17日(月)

事務事業		渋沢栄一資料室管理運営事業			担当課	渋沢栄一記念館	担当係	渋沢栄一記念館	管理番号	15111	
総合計画	大項目	2 次代を担う人と文化を育むまち			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2 誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり			根拠法令 個別計画等	文化財保護法、博物館法、埼玉県文化財保護条例、深谷市文化財保護条例、深谷市渋沢栄一記念館条例、「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画					
	小項目	4 渋沢栄一の顕彰と精神の継承									
	主要プロジェクト	1 渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト									
事業概要		渋沢栄一その他郷土の偉人ゆかりの資料を収集、適切に保管し、資料の調査研究の成果を生かした常設展示、企画展示の企画運営を行うものである。									
目的 ※何のために		渋沢栄一ゆかりの資料を収集・保管し、観覧者へ快適・安全な展示等に供する。渋沢栄一ほかの事績について、広く理解されるための解説を提供する。									
対象 ※誰・何を対象に		収蔵資料、展示室、保管庫、観覧者									
手段 ※どのように		展示設備の維持管理。収蔵資料の保管・修復。常設展示・企画展示の企画実施。資料室への解説員の配置。									
成果 ※何を求めるか		渋沢栄一はじめとした郷土の偉人の事績について市内外の人に理解を深めてもらい、郷土の偉人を生かした取組に寄与するよう、来館者、展示来場者が増加していくこと。									
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input checked="" type="checkbox"/> その他（会計年度任用職員）									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項	目	細事業名		前年度決算額（円）		
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	9	地域文化振興費	一般事務経費	647,365	
本事業の 主な業務		・ 渋沢栄一資料室の維持管理・運営					・				
		・ 常設・特別展示の企画・運営・管理					・				
		・ 資料解説、見学者の受け入れに関すること					・				
		・ 展覧会関連事務の実施に関すること					・				
		・ 渋沢栄一記念館の整備・改修（展示室・資料保管室）					・				
		・ 八基公民館との連絡調整					・				

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		設備修繕備品購入 常設展示、企画展	設備修繕備品購入 常設展示、企画展				
事業費	予算（現額）	532,000	857,000	695,000	1,080,000		
	決算額	346,155	647,365	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	346,155	647,365	695,000	1,080,000	
人件費	従事職員数（人）	1.50	1.40	1.65	1.65		
	人件費相当試算※	11,804,336.00	11,214,231.00	13,795,485.00	13,795,485.00		
総事業費試算		12,150,491	11,861,596	14,490,485	14,875,485		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	設備・備品の修繕・更新等	目標値	点						
		実績値		5.00	3.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			経年劣化等に伴うものであるため、数値目標の設定にはそぐわない。					
	実績値の算出式								
活動指標 2	企画展開催回数	目標値	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		実績値		4.00	5.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			春と秋には企画展を開催する（会期は3か月位）					
	実績値の算出式								
活動指標 3	企画展開催日数	目標値	日	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
		実績値		356.00	355.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			春と秋には企画展を開催する（会期は3か月位）					
	実績値の算出式								
成果指標 1	渋沢栄一記念館来場者数	目標値	千人	100.00	102.00	104.00	104.00	104.00	104.00
		実績値		100.70	88.70				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年度比2％増、ただし令和2年度以降は新型コロナウイルス感染防止策のため見直し					
	実績値の算出式								
成果指標 2	企画展来場者数	目標値	千人	50.00	51.00	52.00	52.00	52.00	52.00
		実績値		100.60	88.70				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年度比増が目標。ただし令和2年度以降は新型コロナウイルス感染防止策のため見直し					
	実績値の算出式								
活動指標 4	解説員配置日数	目標値	日	359.00	359.00	359.00	359.00	359.00	359.00
		実績値		359.00	359.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			開館日一人常駐。ただし令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため見直し					
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	企画展は旧渋沢邸「中の家」の改修工事が終わり、令和5年8月にリニューアルオープンしたことにともない、主屋が明治28年に建てられた前後の事情や「中の家」ゆかりの渋沢家の人々を紹介した。 また、埼玉県立歴史と民俗の博物館との共催事業を行い、展示解説や講演会等含む充実した展示を行うことができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	予約システムの導入により来場者の人数等を把握して受入れ、かつ、状況に対応して情報発信を行うことができた。企画展来場者数は目標値を大幅に超え、達成することができた。
			評価者 渋沢栄一記念館館長補佐 馬場 裕子

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	渋沢栄一記念館の来館予約システムの活用により、スムーズな来館受入が図られ、見学者に充実した観覧機会を提供することができた。 開館日には、解説員による説明を実施し、多くの来場者に郷土の偉人の渋沢栄一について理解を深めてもらうことできた。
			評価者 渋沢栄一記念館館長補佐 馬場 裕子

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	蓄積してきた運営ノウハウを生かし、引き続き、感染対策を講じながら、感染状況に応じた入場者の制限緩和を検討し、安全に観覧できる環境を提供する。時期に応じたテーマや渋沢栄一ゆかりの企画展示を行っていく。
達成状況及び その効果	渋沢栄一記念館の来館予約システムを利用し、スムーズかつ安全な環境で資料室を観覧することができた。時期に応じたテーマや渋沢栄一ゆかりの企画展示を行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	渋沢栄一資料室管理運営事業	担当課	渋沢栄一記念館	担当係	渋沢栄一記念館	管理番号	15111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>来館予約システムを使用し、スムーズな案内で資料室の展示等を観覧いただくことができた。引き続き、資料室を運営、展示の活用を図っていく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	渋沢栄一記念館館長 栗田 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	蓄積してきた運営ノウハウを生かし、安全に観覧できる環境を提供する。時期に応じたテーマや渋沢栄一ゆかりの企画展示を行っていく。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	渋沢栄一の事績を調査、研究した内容や時期に応じたテーマを取り上げ、具体的な展示に反映されるように工夫する。また、それらを通じて、より多くの来場者に伝え、理解してもらうことに取り組む。

8. 評価指標グラフ

